

令和4年度船橋市地域保健推進協議会事前質問及び回答

3. 書面による事前報告

(2) ー①保健総務課ー I 災害医療対策について

【質問】

昨年10月、船橋中央病院で災害医療訓練を行い、病院前救護所のシミュレーションを実施しました。その際、連携のクリニックのご参加がほとんどありませんでした（2施設の先生にはご参加いただきました）。今後、災害医療に備えて、すべてのクリニックの先生方と連絡、連携をとっておいた方がいいと思いますが、どのような方法が考えられるでしょうか。

【回答】

現在、病院前救護所を設置する各災害医療協力病院に対して、発災時に参集する医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会の各会員の名簿を作成し体制を整えております。

実際に参集するにあたっての体制などについては、医師会と連携してアンケート調査を行う等、検討してまいります。令和4年10月に実施した船橋中央病院の病院前救護所訓練に参加した参集医師からは、「具体的な活動のイメージを持つことができよかった」等のご意見もいただいておりますので、次年度に開催する4病院の病院前救護所訓練時には、より参集者の声も聞いていきたいと考えています。

市としましても、各病院前救護所に参集される医師あてに、定期的に訓練実施状況の情報提供を行う等、周知に努めてまいります。

また、各災害医療協力病院におかれましては、ぜひお渡ししている名簿のクリニックの先生方と日頃より連絡を取り合う等、連携の強化に取り組んでいただければと思います。

令和4年度船橋市地域保健推進協議会事前質問及び回答

3. 書面による事前報告

(2) ③健康づくり課Ⅲ 各種がん検診について

【質 問】

がん検診についてですが、コロナの影響で受診率の低下が問題になっています。今後受診率を向上させるためにどのような対策を考えておられますか。

また、要精密検査となった方の精密検査受診率は他の地域と比べ、いかがでしょうか。

【回 答】

受診率を向上させるための対策につきましては、例年対象者へ送付する受診券に3か月の受診期限を設定していますが、コロナの影響により受診しにくい状況があることを考慮し、期限が切れても手続きなしで年度末まで受診できる措置をとっております。

これに加え、新型コロナワクチン集団接種会場での受診勧奨チラシの配布や、市のツイッターやデジタルサイネージの活用により、検診を周知することで受診率の回復に努めております。また、がん征圧月間である9月にあわせて、市内の図書館と連携し、がんとその予防についての正しい知識、早期発見・早期治療の普及のため、がんに関する図書コーナーを設置し、併せてがん検診事業についても周知しました。今後も機会を捉えて、がん検診事業の周知を実施していきたいと考えています。

受診率向上については市と船橋市医師会で開催する各種がん検診及び特定健康診査事業推進検討会においても取り上げており、この検討会でも引き続き対策について協議して参ります。

がん検診の精密検査受診率につきましては、令和元年度の各がん検診平均値で78.2%となっています。最低限保つべき水準として国が示す許容値70%を超えておりますが、統計資料から集計した他の地域の精密検査受診率は、千葉県平均で84.0%、全国平均で82.2%となっており、対象者数や検診受診者数に違いはありますが、本市の精密検査受診率は若干低い数値となっています。

検診の結果、精密検査が必要となった方には、医師からの精密検査の受診勧奨を実施していますが、令和4年度からは、新たに精密検査内容や統計資料等を記載した精密検査受診勧奨通知をお渡しすることで、精密検査受診率の向上に努めています。